

こども園で節分の豆まき会が開催

2月3日、浪江にじいこども園において、節分の豆まき会を行いました。

園児たちは、先生から紙芝居などを通して節分の由来を聞いた後、自分で作成してお面をお披露目。牙が大きいお面や髪の毛が長いお面など、それぞれ特徴がある鬼のお面を着け、自分の心の中にある鬼についても発表しました。

その後、町職員が扮した赤鬼が園庭に現れ、豆まきが開始。はじめは怖いという表情を浮かべていた園児たちも、次第に大きな掛け声で豆をまき、最後には赤鬼を追い払うことができました。



「鬼は外」みんなで豆まき楽しいな



節分にまつわる紙芝居に夢中

新春餅つき交流会が開催

1月18日、なみえ交流館（いわき市）において、なみえ絆いわき会主催の新春餅つき交流会が開催され、98人が参加しました。

交流会では、はじめに小林副町長と佐々木勇治町議会議員から、町の復興状況などについて説明があり、その後、参加者が交代で餅をつき、つきたての餅を使ったあんこ餅やお雑煮など、7種類に味付けした餅料理を食べながら、参加者の皆さんは楽しいひとときを過ごしていました。



2人で息を合わせて「よいしょ」



皆さまの身の回りにある楽しい話題、
いっぽう変わった話題などの情報を募集しています。

☎ 企画財政課情報統計係
TEL 0240(34)0241

八坂神社再建落成式が開催

1月12日、八坂神社（樋渡・牛渡地区）において、八坂神社再建落成式が開催されました。東日本大震災の影響で崩れた、社殿の再建工事の竣工に伴い行われたもので、県内外から多くの町民の皆さんが駆けつけました。

式典では、境内に建立した復興記念碑の除幕式が行われたほか、神楽、田植踊が奉納されました。八坂神社再建委員会の佐藤委員長は、「震災と神社再建を末永く語り伝えるとともに、故郷を思い起こす機会になってほしい」と話していました。



色鮮やかな衣装に身を包み「田植踊」を披露

南津島の田植踊が披露

12月21日、東京国際フォーラム（東京都千代田区）を会場に、「ふくしま大交流フェスタ」が開催され、県内から100を超える団体が出展し、福島県の魅力や復興に向けた取組などを発信しました。

「ふるさとの祭りステージ」では県内の3団体が出演し、浪江町からは南津島郷土芸術保存会による「南津島の田植踊」が披露されました。保存会の皆さんは、たくさんの人で埋め尽くされた会場を盛り上げました。



浪江の郷土芸能が会場を魅了